



お年寄りとの交流

標茶小学校では、子ども一人ひとりが、徳・体・知の調和のとれた力を身に付けるための教育活動を進めています。今年度は、「心の育成」

学校の取組

標茶小学校

に重点を置き、何点か今回のテーマに沿う取り組みを紹介いたします。

■学習意欲を大切にしたい

授業づくり

学び手は、子どもです。その子どもが、「楽しそうだ。」「やってみたい。」「失敗してもみんなが助けてくれる。」など、自分から学びたい。という心の動きを大切にしたい授業づくりを進めます。

■学力の基礎となる読書

学力の基礎となるのは読書です。そのため、読書環境の整備を進めています。図書委員会の子どもたちが読書への興味を喚起するための読み聞かせやボランティアの方による紙芝居などの取り組みを行っています。新校舎になり、明るく温かな図書室では本を手取る子どもたちが増えています。

■少人数加配によるきめ細かな指導

一つの教室で複数の先生が指導したり、小グループに分かれて指導したりし、子ども一人ひとりの学習の状況に応じた学習支援を行っています。

■地域の力を借りた総合的な学習の時間

今年度から全面実施された指導要領では、基礎的な知識や技能だけでなく、考える



図書委員会の取り組み

力や判断する力、表現する力、知識や技能を使う（活用する）力の育成が求められています。考える力や判断する力などは、教室の中の座学だけでは身に付きません。

本校では、地域に支えられながら、お年寄りとの交流や自立支援施設、JA、標茶高校などと、現実の社会の課題に取り組み、自分たちで解決するための方法や解決するための知識などを獲得するための学習を行っています。

■地域に支えられる学校

本校の教育活動を支えているのは、地域のみなさんです。子どもたちが安心して安全に通学できるように見守ってくださる方々、子どもたちの様子に関心を寄せていただき、本校の教育は成り立っています。

しべちゃ vol.40

生き物ファイル

センダイムシクイ



標茶で見られる四季折々の旬な生き物を紹介します。

■名前／センダイムシクイ

Phylloscopus coronatus (ウグイス科)

■見やすい時期／4月下旬～9月(夏鳥)

■よく見つかる場所／山～低地の森林

■特徴／春のまだ木の葉が開ききらないころに、元気がよくこずえで鳴いているのを見かけます。「チヨチヨビー!」という鳴き声を「焼酎一杯グイーッ!」と聞きなすのは有名な話。名前を漢字にすると「仙台虫食」と書かれていることも多いのですが、鳴き声から「千代(ちよ)むしくひ」呼ばれたのが、「千代(せんだい)むしくひ」と呼ばれるようになったという説もあります。

図書館だより

☎485-2300

■開館時間■

火～木曜日：午前10時～午後6時
金曜日：午前10時～午後9時
土・日曜日：午前10時～午後4時
休館日：月曜日・祝日

◎「すぎのこ」巡回公演

人形劇団「すぎのこ」が日本民話「かもとりごんべえ」を楽しい人形劇にして上演します。

1977年の初演以来、大好評の人気作品です。

■日時／5月14日(土)
午後1時30分～

■場所／図書館視聴覚室

■入場料／無料



みんなの 作品展



投稿お待ちしております

掲載希望の方は、イラスト・詩・絵画・写真ほか何でも結構ですので、作品に住所・氏名を記入の上、次のところまでお寄せください。

〒088-2312 川上4丁目2番地
役場企画財政課地域振興係「みんなの作品展コーナー」

絵手紙の会



佐藤 操さん（旭）の作品



和田 礼子さん（開運）の作品

文芸作品

- 愛娘花嫁姿に目が潤む
高野 圭逸
- 政治家の笑みが卑屈なポーズ見せ
山井 幸枝
- 媚びること知らず生き来り雪の路
横山 樹木
- 春の怪怒濤逆巻く大惨禍
加藤たかひと
- 川柳（標茶川柳の会）
- 家流れ車流れて人失せる
横山 満雄
- 地獄絵きよのわたくしの国
井本 花子
- コツタ口の夕べの湖畔に佇めば
高野 圭逸
- 刻々と生命きざみし人生の朝の目覚めに今日もありしか

短歌（自生林短歌会）

俳句（標茶菱の実吟社）

高野 圭逸
山井 幸枝
横山 樹木
加藤たかひと

フィールドウォッチング野鳥のふしぎ



毎年、繁殖のため釧路湿原に渡ってくる野鳥。水辺や湿地、雑木林などの場所を散策しながら、どんな野鳥が生息しているのか観察します。双眼鏡のある方は持参してください。

- 日時／5月14日(土)、午前10時～正午
- 講師／長尾芳文氏（日本野鳥の会会員）
- 場所／茅沼蝶の森周辺
- 定員／15名
- 参加料／無料
- ※申し込みが必要です。
- 申し込み／塘路湖エコミュージアムセンター（☎487-3003、水曜日休館）